



編集・発行

大阪府立

呼吸器・アレルギー医療センター

大阪府羽曳野市はびきの3丁目7-1

TEL: 072-957-2121

FAX: 072-958-3291

HP: <http://www.ra.opho.jp>

E-mail: kokyucen@ra.opho.jp



今年の春はつらい春です

院長 かわせ いちろう 川瀬 一郎

皆さん、いかがお過ごしですか。日本は「アベノミクス」流の金融緩和でおおいに湧いています。その筋書き通りに経済が活性化され、税収の増加に反映されれば、これほど結構なことはありません。とにかく大阪府の税収不足は深刻です。福祉、医療、教育などとも府民への影響が大きい分野が早く「大阪らしさ」を取り戻せるよう、みなさん、少しでも大阪で買い物をしましょう。

今年の春はスギ花粉がことのほか多い年だそうで、アレルギー性鼻炎や結膜炎をお持ちの方はマスクや点眼薬が手放せません。私もいたるところでくしゃみと目のかゆみにさいなまれています。さらに今年は中国大陸から黄砂に加えて微粒子 PM2.5 なるものが飛来してくるとか。これは工場や自動車の排ガスに含まれる「すす」が主成分で、直径が 2.5 マイクロメートルと髪の毛の直径の 30 分の 1 ほどの小さい粒子です。これを吸い込むと当然肺の奥深くまで到達し毛細血管にまで入り込みますので、長期にわたると肺のみならず心臓にも悪影響を及ぼすとのことです。

しかし問題はそれにとどまりません。黄砂や PM2.5 がスギ花粉やその他のアレルギー物質に付着して体内に入るとアレルギー反応が増強されてしまい、何度もそれを経験しているうちに黄砂や PM2.5 に刺激されただけでアレルギー反応が惹起される可能性があります。

どうぞ皆さん、しっかりマスクをしてこのつらい春を乗り切りましょう。

日本における喫煙と肺癌

肺腫瘍内科主任部長

ひらしま ともりのり 平島 智徳

喫煙と肺癌の関連性はこれまで多くの研究が行われ確立したものとなっており、社会全体が禁煙を推進することで肺癌罹患率を抑制できることは議論の余地のないところです。しかしながら、喫煙と肺癌罹患の危険度については人種差があることも知られています。若井先生ら(Jpn J Clin Oncol 2006;36:309-324)の日本人を対象とした 8 件の前向き観察研究と 14 件の症例対象研究の男女別のデータを使って改めて解析を行った結果、喫煙者(既喫煙者を含む)の非喫煙者に対する肺癌になる危険度は、男性で 4.4 倍、女性で 2.8 倍となり、肺癌の組織別では、扁平上皮癌の危険度が男性 11.7 倍、女性 11.3 倍で、腺癌については男性 2.3 倍、女性 1.4 倍でした。この結果は欧米人では喫煙による肺癌発症の危険度が 10 倍以上であるのに対して相対的に日本人はその危険度が低いことが示しています。従って、日本においては非喫煙者であっても肺癌特に肺腺癌に罹患する危険性が存在すること



は注意すべきことと考えられます。非喫煙者の肺癌罹患の危険因子として受動喫煙も考えられており、2006年の米国公衆衛生長官報告によれば、家庭や職場での受動喫煙は、非喫煙者の肺癌罹患の危険度を20 - 30%増加させるとの見解を示しています。今後、禁煙を社会全体が推進したうえで、喫煙以外の危険因子を特定していくことが日本における肺癌罹患率を低下させるのに重要と考えられます。

<看護部 誠意と温かみのある優しい看護を目指して④> 9A・11A 感染症内科病棟

9A・11A病棟は50床ずつ合計100床の結核病棟です。9Aは病棟と外来とが一体化しており、入院から治療終了までをトータル的にケアをしています。また11Aは結核だけでなく、手術が必要な疾患(胸部・消化器、婦人科など)を持った方、HIVの合併、血液透析の必要な方、多剤耐性結核(薬の効きにくい結核)の患者様が入院している病棟です。

結核の治療を受ける患者様は入院隔離を余儀なくされ、大きなストレスを抱えています。そこで少しでもストレスが軽減して、快適に入院生活が送れるよう、患者様との対話を大切にし、季節の行事を通して気分転換を図るとともに、談話室へのインターネットの設置、売店のカタログを置くなど、環境面への配慮も行っています。

結核の治療は『確実に薬を飲む』ことです。その期間は最低でも6か月であり、内服し続けることは容易ではありません。そこで私たちは患者様に結核に対する正しい知識を持っていただき、最後まで服薬ができるよう様々な職種と連携し、①患者・ご家族様を対象に入院時と退院前の結核教室の開催 ②受け持ち看護師、薬剤師からの生活・服薬指導 ③保健所との連携(DOTS会議や個別での会議)というような支援を行っています。

大阪府では未だに多くの結核患者様が発生しています。大阪府の結核基幹病院として、広く一般市民の方々に結核という病気の理解を深めていただけるよう、9月の結核予防週間にはスタッフが地域に出向き、結核予防啓発活動を積極的に行っています。

当センターの結核キャラクター

結核くんを中心にして、その他はすべて結核の薬の名前です。

結核予防週間に登場しますのでお楽しみにしてくださいね



結核くん



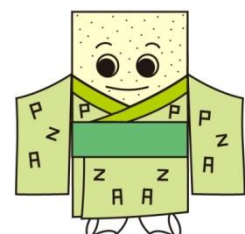
EBくん



RFPちゃん



あいな三兄弟



PZAさん

4月の教室案内

*カンガルー教室

● 4月 3・10・17・24 日

午後1時～

第1会議室

*禁煙教室

● 4月 4日

午後3時30分～

医療情報コーナー

*喘息教室

● 4月 18日

午後1時45分～